

第13回

- 講演者：松村 慎一 氏 (鹿児島大学)
 - 題目：調和積分論とその消滅定理と単射性定理への応用
 - 日時：平成25年11月15日（金）16：30～17：30

代数/複素幾何で重要となるコホモロジーの消滅定理やその一般化である単射性定理について話します。議論の対象となるコホモロジーは代数的な対象ではありますが、適切な (L^2) -空間を準備することで、多様体上の微分方程式 $\bar{\partial}$ -方程式) で記述できます。本講演では、消滅/単射性定理の観点から、この微分方程式の可解性を議論します。微分方程式に帰着することで、調和積分論/直線束の曲率などの解析/微分幾何の道具が応用できます。Kodairaの消滅定理からはじめ、KollárやEnokiやFujinoの単射性定理について話します。さらに、最近得られた特異計量/乗数イデアル層を用いた単射性定理の一般化を与えます。時間が許せば、応用として、新しいNadel型 (Kawamata-Viehweg型) のコホモロジー消滅定理を証明します。



.lg-outer.lg-pull-caption-up.lg-thumb-open .lg-sub-html {bottom:80px;}

31 images

From:

<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/> - (旧)理工学部 数学科

Permanent link:

<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/seminar/2013/013>

Last update: **2017/11/16 19:06**

